

[成果情報名]大粒で外観が優れる黄緑色のブドウ新品種「ジュエルマスカット(ブドウ山梨1)」の開発

[要約]「ジュエルマスカット」は、大粒で黄緑色の二倍体の新品種である。成熟期は育成地において9月上旬で「シャインマスカット」より10日程度遅い。長楕円形の果粒は18g程度になり、ボリューム感のある果房は外観に優れる。

[担当]果樹試・育種部・生食ブドウ育種科・小林和司

[分類]技術・普及

[背景・ねらい]

近年、ブドウ主要品種の価格は低迷し、栽培面積も減少している。そこで、ブドウ生産の維持・拡大を図るため市場競争力のある高品質大粒品種、観光や宅配向けなど多面的な販売が可能なボリューム感のある大粒品種など本県独自のオリジナル品種を開発する。

[成果の内容・特徴]

1. 「ジュエルマスカット」は、平成16年に大粒な「山梨47号」に食味が優れる「シャインマスカット」を交雑して得られた実生から育成した二倍体の品種である。
2. ジベレリン処理により種なし化した果房の成熟期は果樹試験場(標高440m)において、9月上旬で、「シャインマスカット(種なし)」より10日程度遅い(表1)。
3. 果皮色は黄緑色で果粒の形は長楕円である。果粒重は平均18g程度である。糖度は18%程度で、酸含量が低く皮ごと食べられ食味は良好である(表1、図1)。

[成果の活用上の留意点]

1. 花穂下部約4cmを用いて房づくりを行い、35粒程度に摘粒すると600g程度の果房となる。
2. 消費者需要から種なし栽培を基本とする。種なし化のためのジベレリン処理は「二倍体欧州系品種」の適用となる。
3. 「巨峰」に準じた慣行防除の下では、特に問題となる病害虫の発生は見られない。
4. 成熟後期に「かすり症」が発生することがある。

[期待される効果]

1. 観光や宅配向けなど多面的な販売が可能なボリューム感のあるオリジナル品種として、県内への普及が期待できる。

[具体的データ]

表1 「ジュエルマスカット」の樹体及び果実特性(山梨果樹試 2009～2010年)

品種・系統	樹勢	満開期 (月日)	収穫始 (月日)	果房重 (g)	果粒重 (g)	果粒形	果皮色
ジュエルマスカット	中	6/5	9/4	676	17.8	長楕円	黄緑
シャインマスカット	中	6/11	8/23	475	13.0	短楕円	黄緑

(続き)

品種・系統	はく皮の 難易	果肉特性	裂果性	糖度 (%)	酸含量 (g/100ml)	香気	渋み
ジュエルマスカット	難	崩壊	無	17.7	0.44	なし	無
シャインマスカット	難	崩壊	無	18.3	0.45	マスカット	無

台木・樹齢: ジュエルマスカット(101-14台 5～6年生)、シャインマスカット(101-14台 4～5年生)

長梢・棚・種なし栽培(満開時GA25ppm+F5ppm、満開2週間後GA25ppm)

収穫始: 糖度が17%を超えた時期を目安に収穫した

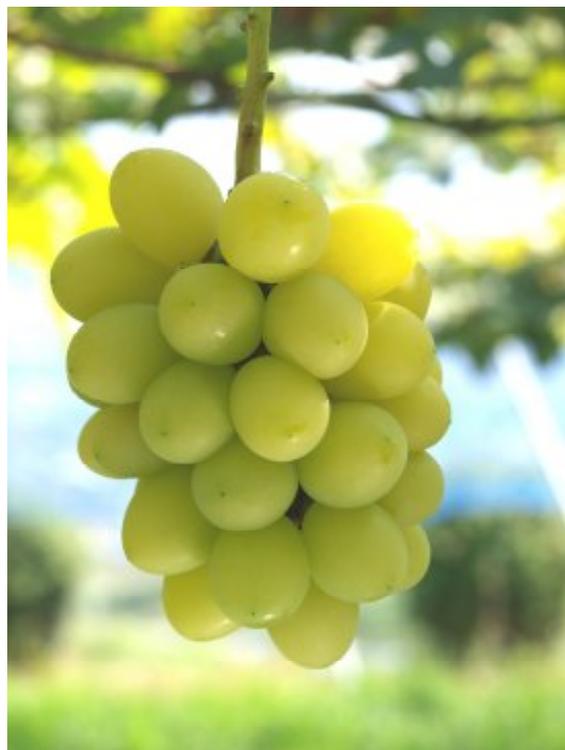


図1 「ジュエルマスカット」の果実

[その他]

研究課題名: 大粒で外観の優れるオリジナル品種の育成

予算区分: 県単(重点化)

研究期間: 2004年度～

研究担当者: 小林和司、山下浩輝、両角斉彦、猪股雅人